

案内

地域医療安全推進 センター主催研修会

1. 医療安全・医療の質トップマネジ メント研修

日時：7月5日(土)

会場：海運ビル(東京都千代田区)

プログラム：説明と同意にかかわるトラブルの未然防止！—具体的事例で考える防止対策と職員教育／クリニカルインディケータと医療の質—医療のアウトカム測定と評価／病院内の自殺予防と事後対応—リスクの把握と対応のポイント／不当要求から病院と職員を守る！—マニュアル・チェックリストの活用

受講料：2万5000円

2. 医療安全管理者養成研修Ⅰ

日時：7月24日(木)～26日(土)、8月29日(金)～31日(日)

※全6日の受講必須

会場：都道府県会館(東京都千代田区)、海運ビル

プログラム：医療安全施策の動向／医療安全の基礎的知識と医療安全管理者の業務／安全管理体制の構築と安全文化の醸成／医療安全管理者の取り組みの実例／自施設における医療安全の課題／危機管理総論、医療事故発生時の対応、危機管理演習／情報収集、分析、対策立案、評価、フィードバック／RCA／HFMEA／医療事故等の情報収集の意義と活用／職員に対する医療安全教育企画・運営のポイント／実践的医療安全トレーニングの実例／個人情報保護にかかわる危機管理／医療機関における苦情・クレーム対応

受講料：6万2000円

3. 医療安全教育研修

日時：8月2日(土)・3日(日)

会場：海運ビル

プログラム：PRAトレーニングの概要と実際、PRAトレーニング演習、企画演習、総括／MITTの概要と実際、MITT演習、企画演習、総括

受講料：3万2000円

(以下共通)

申し込みと詳細：ウェブサイト参照

問い合わせ：地域医療振興協会 地域医療安全推進センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-

6-3 都道府県会館15階

TEL：03-5212-9152

E-mail：iryou-anzen@jadecom.or.jp

http://www.jadecom.or.jp/iryou-anzen/guide/index.php

案内

第1回て・あて塾 東北版講座 〈聴き・触れるエキスパートへの道—総論編〉

日時：7月～9月(全5回)

会場：て・あて東松島の家(宮城県東松島市)

目的：習熟した手のわざを身につけ、心から聴けるエキスパートをめざす

プログラム：

7月26日(土)「て・あて—その心とわざ—安楽性論と生活行動援助論」川嶋みどり(て・あて推進協会理事長、日本赤十字看護大学名誉教授)

8月2日(土)①「触れる・癒す・あいだをつなぐ手—タッチングタッチ」八木美智子(て・あて推進協会、元神奈川県立病院附属看護専門学校校長)／②「がん緩和ケアに活かすて・あて」小野寺綾子(て・あて推進協会、元神奈川県立がんセンター看護部長)

8月3日(日)「認知症高齢者の言葉を聴く力」水野陽子(て・あて推進協会、認知症看護認定看護師)

9月27日(土)「タッチングの技術—看護に活かすフットケア」今野康子(日本赤十字医療センター、糖尿病看護認定看護師)

9月28日(日)①「タッチングの技術—看護に活かすハンドケア」板橋由紀(て・あて推進協会、日本リラクゼーション協会認定セラピスト)／② 全体のまとめ(て・あて推進協会理事)

※開講時間9：30～16：30(昼食持参のこと)

参加費：4万円(1日参加1万円)

定員：先着30名

参加資格：有資格の看護職(現在無職の方も歓迎)

申し込み：メールまたはファックスで①氏名、②所属、③連絡先(メール・電話・FAX・住所)を「て・あて東松島の家」責任者伊藤良子まで

申込締切：6月30日(月)16：00

FAX：0225-90-4485

E-mail：te-arte@tbz.t-com.ne.jp

案内

日本産業看護学会 第3回学術集会

日時：9月5日(金)・6日(土)

会場：産業医科大学(福岡県北九州市)

テーマ：産業看護の進化と深化—実践と研究の融合

プログラム：集会長講演／特別講演・内村直尚(久留米大学)／基調講演・西内恭子(梅花女子大学)／特別集会(日本産業看護学会産業看護学体系化委員会)／「研究方法の基礎」中田光紀(産業医科大学)／一般口演・ポスター発表・ラウンドテーブル／メインシンポジウム「産業看護の進化と深化—実践と研究の融合」島津明人(東京大学大学院)、畑中純子(四日市看護医療大学)、橋本和宏(橋本食品(株))、大平哲也(福島県立医科大学)

参加費：

(～6/30)会員6000円、非会員7000円(7/1～)2日参加：会員・非会員とも7000円

1日参加：会員5000円、非会員6000円
大学院生を除く学生2000円(事前・当日とも)

申し込み：ホームページ(http://www.3rdjaohn.jp/)より様式を入手のうえ、EメールかFAXにて

問い合わせ：事務局

〒807-8555 北九州市八幡西区医学生ケ丘1-1 産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学内

FAX：093-692-0259

E-mail：3rdjaohn@mbox.health.uoeh-u.ac.jp

http://www.3rdjaohn.jp/

案内

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第11回学術大会

日時：9月6日(土)10：00～

会場：北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(北海道札幌市)

メインテーマ：感染予防の新たな展開：グローバルに考え、ローカルな行動実践

プログラム: 講演「コペルニクスの転回—感染予防のためのイノベーション」草場恒樹(モーレンコーポレーション President & CEO)／シンポジウム「ローカルな行動実践: 地域における感染症予防」林久美子(倶知安厚生病院看護部長)・石角鈴華(喜茂別町立クリニック診療看護師)・佐々木剛(特別養護老人ホーム真狩羊蹄園施設長)／研究発表／懇親会
参加費: 講演会のみは無料, 学術大会 2000 円, 懇親会 3500 円
問い合わせ: 第 11 回学術大会実行委員会
 FAX: 0133-23-1426 (学会事務局)
 E-mail: gakkai11kai@hoku-iryo-u.ac.jp
<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai>

案内

第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会

日時: 9 月 6 日(土)・7 日(日)
会場: 京王プラザホテル, 新宿 NS ビル, ベルサール新宿セントラルパーク(東京都新宿区)
テーマ: 食べる喜び 支える楽しさ—広がるチーム
プログラム: 会長講演／招待講演／教育講演／シンポジウム／パネルディスカッション／一般演題(口演・ポスター)／交流集会／ランチョンセミナー／市民公開講座(ホテルでの嚥下調整食ランチ・要事前申込)
 ※別途開催
 ① JSDR20 周年記念国際摂食嚥下シンポジウム(9 月 5 日・京王プラザホテル, http://www.cs-oto.com/jsdr2014/i_symposium.html)
 ② 有料セミナー(9 月 7 日 17:00～19:00, 要事前申込, <http://www.cs-oto.com/jsdr2014/index.html>)
問い合わせ: 大会運営事務局
 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-12-7 オフィステイクワン
 TEL: 052-930-6145
 FAX: 052-930-6146
 E-mail: jsdr2014@cs-oto.com
<http://www.cs-oto.com/jsdr2014>

案内

第 19 回多文化間精神医学ワークショップ

日時: 10 月 18 日(土)9:25～16:05
会場: 産業医科大学ラムツィーニホール(北九州市八幡西区)
テーマ: 国境を超える看護
プログラム: 特別講演「災害看護学における“文化”—グローバル時代に対応して」南裕子(高知県立大学学長)／シンポジウム 1「日本で働く外国人のメンタルヘルスとその支援」阿部裕(明治学院大学), 大西裕美(P & G ヒューマンリソーシズ), 村上裕子(東京海上日動メディカルサービス), Ian de Stains(TELL: 東京英語いのちの電話)／シンポジウム 2「経済連携協定に基づく外国人看護師の受入れの現状と課題」平野裕子(長崎大学), 長野裕子(産業医科大学病院), ELISABETH KURNIAWATI NALUR(医療法人茜会昭和病院), 川口貞親(産業医科大学)
参加費: 医師 5000 円, 医師以外 3000 円, 学生無料(大学院生除く。要学生証提示), インドネシア人およびフィリピン人看護師(研修生含む)無料
問い合わせ: 事務局
 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学産業保健学部広域・発達看護学講座 野元由美(事務局長)
 TEL: 093-691-7477
 FAX: 093-691-7183
 E-mail: j-4kango@mbox.health.uoeh-u.ac.jp
<http://www.uoeh-u.ac.jp/jp/University/dept/health/kouikihattatsu/sonota.html>

案内・募集

認知症の人と家族への援助をすすめる第 30 回全国研究集会

日時: 11 月 2 日(日)9:30～16:00
会場: 青森市民ホール(青森市柳川)
テーマ: 「生かされる」から「生きる」へ—本人・家族が尊厳をもって生きられる時代へ
プログラム: 講演「若年性認知症の人と家族とともに歩んで—神経内科医として」東海林幹夫(弘前大学大学院医学研究

科脳神経内科学講座教授)／事例発表／シンポジウム「若年性認知症の人を地域で支える」(シンポジスト予定)厚生労働省, 介護支援専門員, 地域包括支援センター, 介護家族／展示「全研 30 回の歴史」青森県支部の取り組み「『家族の会』各支部の取り組み」認知症はっと三行レター「介護機器紹介(ブース出展)」
参加費: 2000 円(資料代)
問い合わせ:
 ① 認知症の人と家族の会(担当: 櫻井・小川)
 〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館 2 階
 TEL: 075-811-8195
 FAX: 075-811-8188
 E-mail: office@alzheim.or.jp
 ② 青森県支部(担当: 秋田谷・石戸)
 〒031-0841 八戸市鯉町字居合 1-3
 TEL: 0178-35-0930
 FAX: 0178-34-0651

【事例発表募集】

内容: ①介護保険制度の問題点, 有用な制度にするための提案など／②本人・家族支援についての先駆的事例／③若年認知症者支援について
発表者: 資格不問
発表時間: 口述 15 分程度
応募方法: 表題, 趣旨(1000 字程度), 住所, 氏名, 年齢, 性別, 職業, 電話番号を郵送, または E メールにて
応募先: 上記問い合わせ先①まで
応募締切: 6 月 30 日(日)

【認知症はっと三行レター募集】

内容: 認知症にかかわる出来事, 心情を 60 字以内で表現
募集部門: ①認知症本人, ②家族, ③看護・介護者, 認知症サポーター・一般
応募方法: 発表作品と部門, 住所, 氏名, 年齢, 性別, 職業(学校名), 電話番号, 匿名希望の有無を, 青森県支部ホームページ(<http://aomori-alzheimer.jimdo.com/>)経由またはハガキで上記問い合わせ先②まで
応募締切: 7 月 31 日(木)消印有効